

2026 年度聖学院大学大学院

政治政策学研究科
秋期入学試験問題

〔政治政策学研究科〕
修士課程

英 語 （ 6 0 分 ）

<注意事項>

- ① 監督者の指示があるまで、この問題用紙を開かないで下さい。
- ② 監督者の指示により、解答を止めて下さい。
- ③ 試験終了後、問題用紙と解答用紙を回収します。
- ④ 机の上には、受験票・筆記用具のみを置いて下さい。
- ⑤ 質問等がある場合は、静かに挙手して監督者を待って下さい。

受験 番号		氏 名	
----------	--	-----	--

次の英文を読んで、問 1 から問 4 に答えなさい。

著作権の都合により非公開

著作権の都合により非公開

Source: “A new status for foreign workers”, The Japan Times, May 5, 2018.

- 問 1 外国人労働者の”a new status”とはどのような status か？問題文に書かれている内容に基づき（解答者自身の知識を持ち込まずに）、日本語で説明しなさい。
- 問 2 なぜ、外国人労働者の”a new status”を政府は作ろうとするのか？その理由を、問題文に書かれている内容に基づき（解答者自身の知識を持ち込まずに）、日本語で説明しなさい。
- 問 3 下線部(1)を訳しなさい。
- 問 4 下線部(2)を訳しなさい。

聖学院大学大学院 政治政策学研究所

入学試験問題解答例等

入試実施年度	問題番号	試験科目名
2026 秋期 (25 年度実施)	MPEN-013	政策研英語科目

・入試問題解答例等記入欄

【設問】

別紙試験問題「MPEN-013」参照

出題意図（問1と問2ともに）：

時事問題に対して、「課題文のみから解答を導く」という限定条件を置くことにより、英語を訳出する力を調べるため。

問1：外国人労働者の”a new status”とはどのような status か？問題文に書かれている内容に基づき（解答者自身の知識を持ち込まずに）、日本語で説明しなさい。

最長5年間の技能実習を修了した外国人に与えられる、さらに5年間、合計10年間、外国人労働者が日本に滞在し働くことができる地位

問2：なぜ、外国人労働者の”a new status”を政府は作ろうとするのか？その理由を、問題文に書かれている内容に基づき（解答者自身の知識を持ち込まずに）、日本語で説明しなさい。

実習生の中には、実習中に劣悪な労働環境に置かれているとされる者もあり、その改善をすることで、様々な業種で深刻化する人手不足への対策にも役立つという期待があること。とくに介護、農業、建設など、国内労働者の不足が深刻化している分野が含まれると報じられおり、日本が人材不足を補うために必要とする外国人労働者に対し、政府が新たな在留資格を創設する方が、安価な労働力供給の手段として意図されていない技術実習制度の範囲を拡大し続けるよりも理にかなっているため。

問3：(1)を訳しなさい。

政府は、公式に非日本人が非熟練労働に従事することを禁じた一方、次の職種—教育、法律サービス、そして経営管理—についての専門知識を持つ者については、より多くの外国人労働者を招聘することとしている。しかし、日本の外国人労働者の数は、昨年10月時点において、その前の年より18%増の過去最高となる128万人という記録的な数字にのぼっている。その多くが非熟練労働分野であり、こうした分野の労働需要は、例えば技能実習生や留学生といった、本来就職を目的として来日しているわけではない人びとによって占められている。

問4：(2)を訳しなさい。

この課題に関する議論は、その課題と社会的な含意に関する人びとの感受性から、迅速で簡単な回答を出すことはできない。しかしながら、政府の公式な政策と、外国人労働力に依存する現実との矛盾は、いつまでも放置するわけにはいかない。